

第29回（4-6月期）

川口商工会議所リアルタイム景況調査

2022年7月 川口商工会議所

調査概要・回答者属性

調査概要

- 調査期間 : 令和4年7月8日～7月22日
- 調査対象 : 会員事業所 400件 (FAX279件、メール292件、重複171件)
- 回答数 : 回答数 : 101件 回答率 : 25.25%
- 調査方法 : FAX・メールによる送付、FAX・Web (Googleフォーム) による回答
- 分析方法 : 売上、採算、従業員、業況などについて、「増加」(好転など)と答えた企業割合から、減少」(悪化など)と答えた企業割合を差し引いた値DIを中心に分析

(DI:Diffusion Index)

回答者属性

問1 (1) 業種、(2) 業歴、(3) 資本金、(4) 従業員

業種	実数	%
製造業	22	21.9%
建設業	14	13.9%
卸売・小売業	17	16.8%
飲食業	11	11.0%
サービス業	31	30.8%
その他	6	5.6%
総計	101	100.0%

従業員数	実数	%
0～5人	45	44.6%
6～20人	21	20.8%
21～50人	17	16.8%
51～100人	4	4.0%
101～300人	9	8.9%
301以上	5	4.9%
総計	101	100.0%

業歴	実数	%
5年未満	7	6.9%
5～10年	12	11.9%
11～20年	15	14.9%
21～30年	12	11.9%
31～40年	7	6.9%
41～50年	11	10.9%
51～60年	13	12.9%
61～70年	9	8.9%
71～80年	7	6.9%
81～90年	3	2.9%
91～100年	1	1.0%
101年以上	4	4.0%
総計	101	100.0%

資本金	実数	%
個人事業主	12	11.9%
500万円以下	28	27.7%
500万円超～1千万円以下	22	21.8%
1千万円超～3千万円以下	15	14.9%
3千万円超～5千万円以下	7	6.9%
5千万円超～1億円以下	6	5.9%
1億円超～	9	8.9%
未回答	2	2.0%
総計	101	100.0%

調査結果概要

<箇条書きスタイルについて>

- ・ データやグラフの説明
- データやグラフの結果から読み取った考察

<業種DI>

- ・ 製造業では、他業種と比較して顕著な数値として、仕入単価DIが、今期▲90.5となった。
- 仕入価格DIが、前期の建設業を抜いて、仕入単価上昇の影響を最も感じている業種となる。そのため、採算DI・業況DIの先行きが▲23.8となっている。コロナや仕入単価だけでなく、インフレによる買い控えも製造量を抑えざるを得ない要因と考える。
- ・ 建設業では、今期（4-6月）の売上高DIが27.3、業況▲9.1となっており、売上としては伸びたが採算が取れていない状況である。
- ・ 業況DIの先行き（7-9月）は、今期よりもさらに9.1ポイント好転と見ている。業況DIがプラス数値は、建設業のみである。

<行政や商工会議所への要望>

- ・ SDGsの講習会・宣言書策定の補助、生産性向上に向けたセミナーの実施といった声があがっている。
- これは、社会の変化に対応していなければならないという中小企業経営者の思いがうかがえる。
- ・ 共生社会という目的で、外国人理解の説明会を企画してほしいという声があった。
- ・ コロナ融資の据え置き返済が始まると、資金繰りがかなり厳しくなるという先行きの不安の声があった。

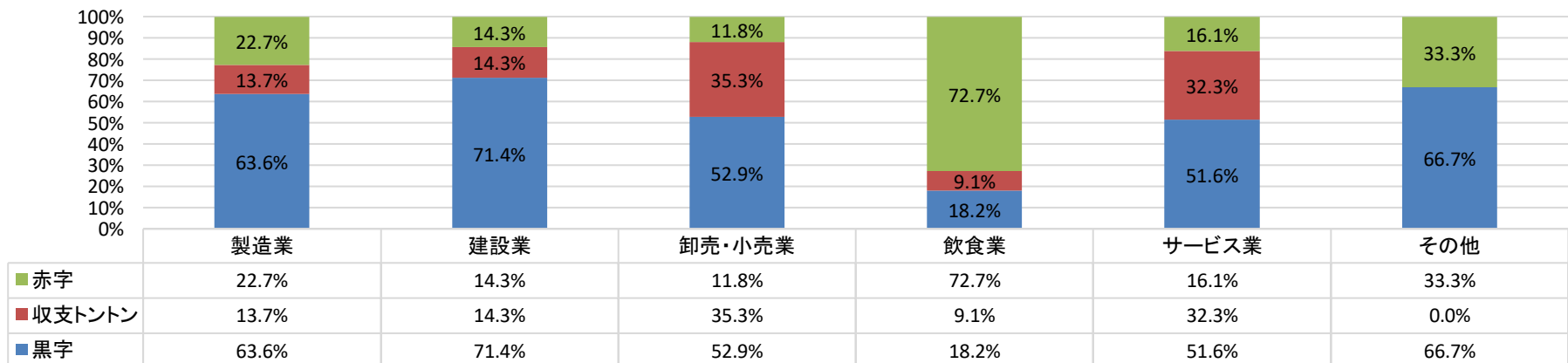
<車両運転前後のアルコールチェックの義務化>

- ・ 認知していない回答（4件）は、全体の4.0%であり、義務化の認知は9割以上を超えている。
- この結果から、認知よりも、実施するための支援や実施方法の具体的な情報を発信するフェーズであると考ええる。

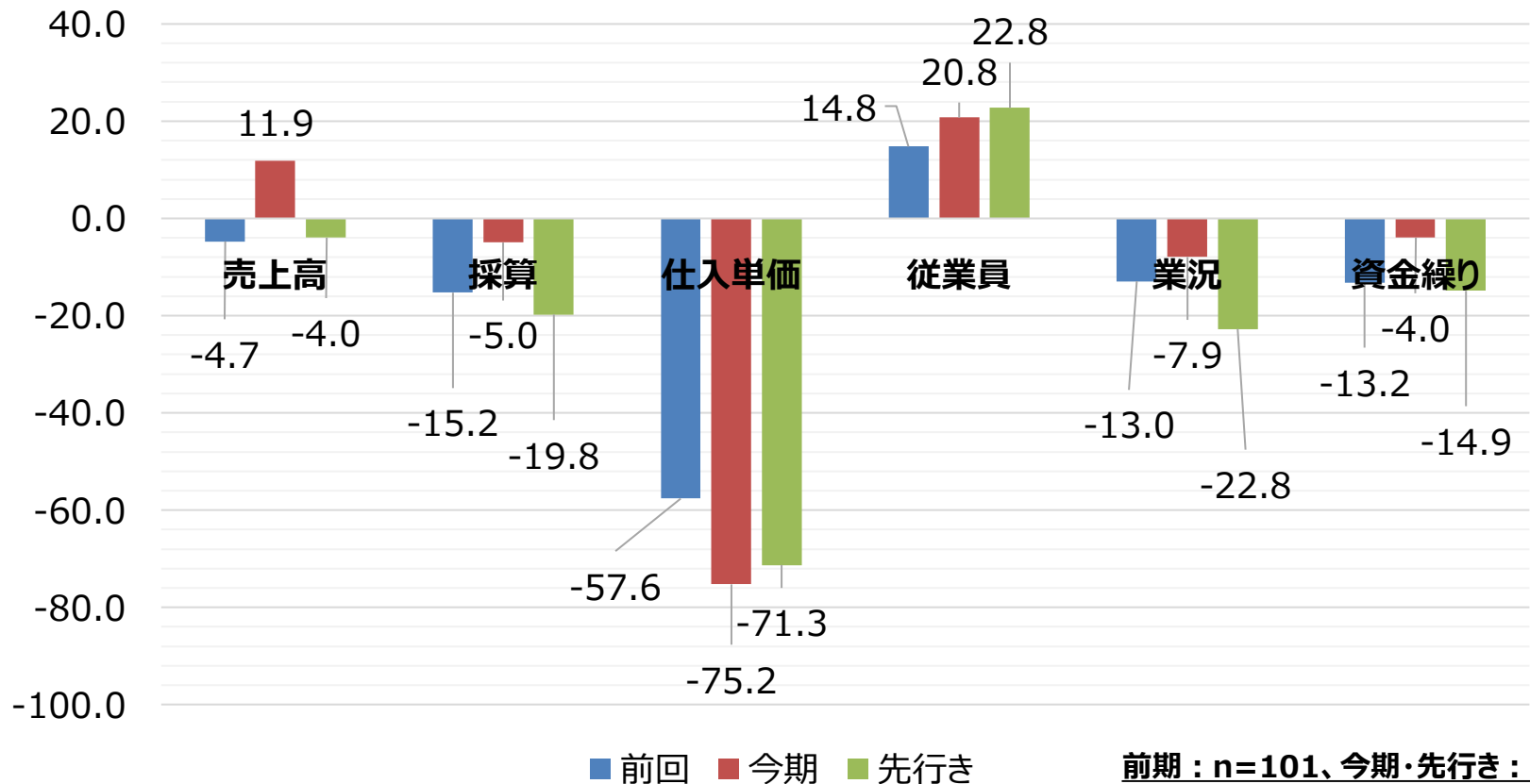
<男女共同参画・女性活躍に関する取り組み>

- ・ 男女共同参画・女性活躍の取組を進めている割合が高い業種は、建設業（57.1%）、飲食業（45.5%）であった。
- ・ 取り組んでいないという回答の中には、「既に活躍している（26件）」「特に理由はない（10件）」という対極の回答が上位となった。

問1（5）：収益状況（直近の決算、それ以外は今期の見込み）



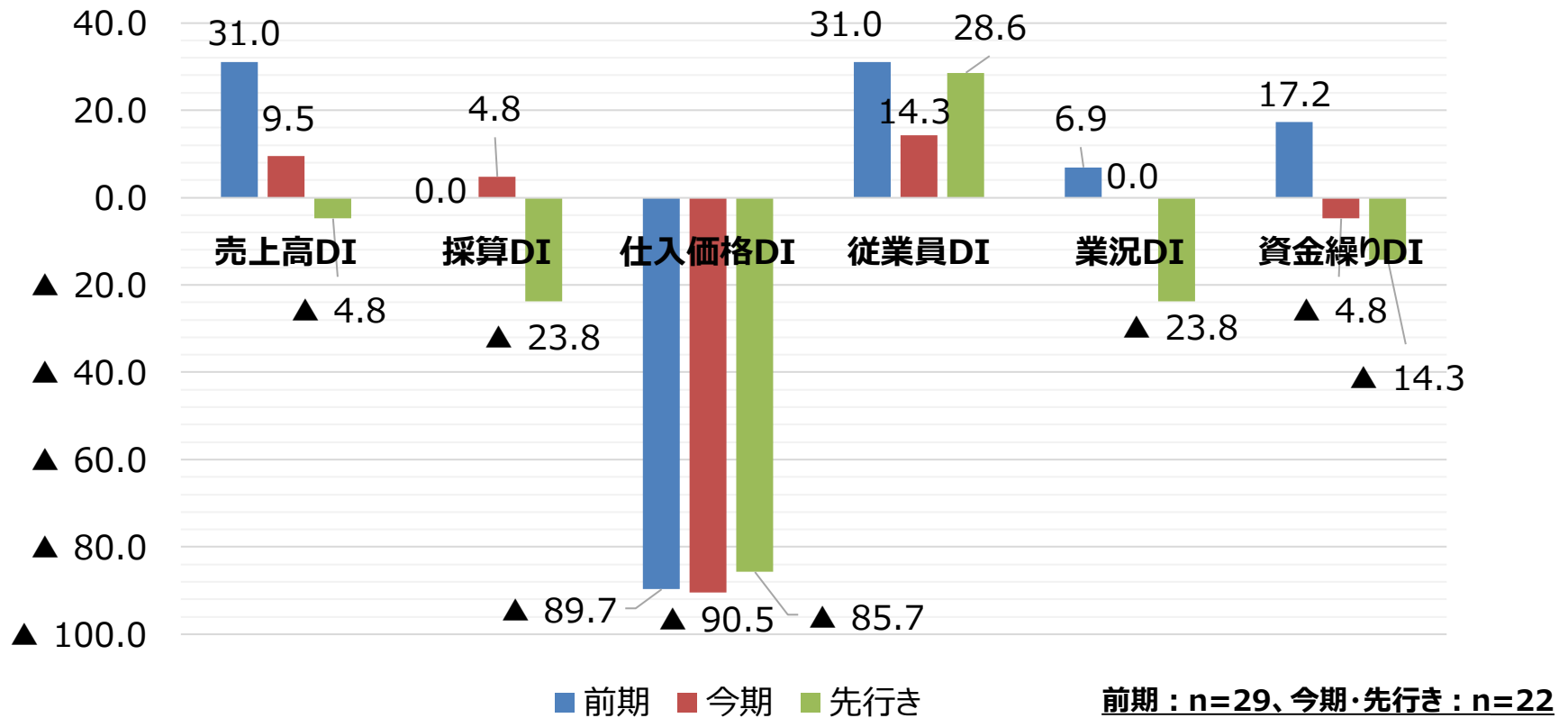
問2：景況感について | 全業種DI（前回-今回-先行き）



考察

- 売上高DIに関して、今期（4-6月）は、前期（1-3月）から16.6ポイント上昇している。
- また、採算DIを見ると、今期（4-6月）は、前期（1-3月）から10.2ポイント回復した。
- 一方、先行き（7-9月）では、売上高DI・採算DI共に、悪化する見通しを持たれている。
- 仕入単価DIが、前期よりも今期が17.6ポイント悪化しており、業況DIの見通しも低い結果となっている。
- コロナが落ち着き6月までの売上にもつながったが、感染者増のニュースや原価高騰の影響が、先行きの見通しを悪くさせている要因として考えられる。

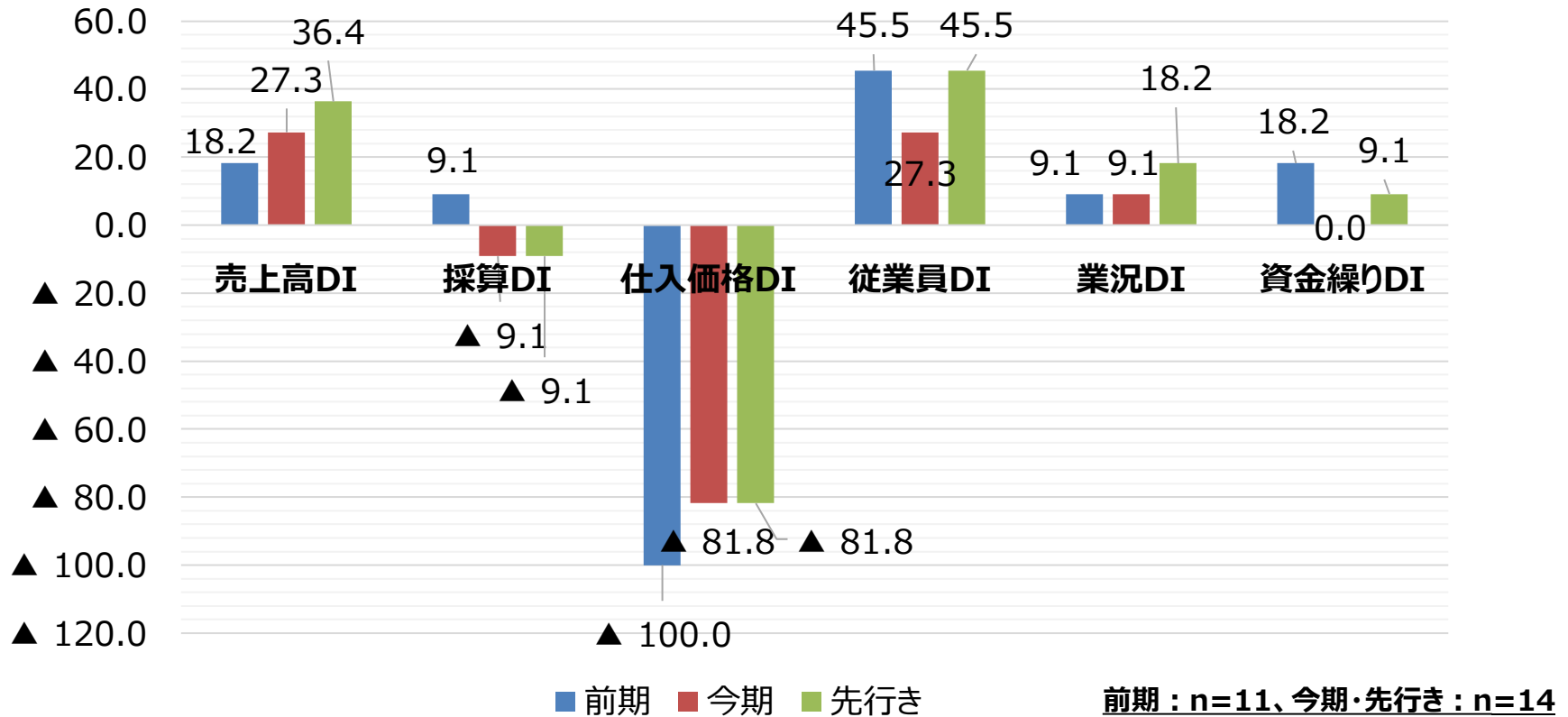
問 2 : 景況感について | 製造業DI (前回-今回-先行き)



考察

- 製造業では、今期（4-6月）と先行き（7-9月）を比較すると、売上高DIが14.3ポイント悪化、採算が28.6ポイント悪化となる見通しを持っている。
- 他業種と比較して顕著な数値として、仕入単価DIが、今期▲90.5となった。
- 仕入価格DIが、前期最も低かった建設業を抜いて、価格上昇の影響を最も感じている業種となる。さらに、売上高DIが前期と比べ20ポイント以上減少している。要因としては物価高による買い控えや中国上海のロックダウンなどで部品の入荷が難しくなっていることが考えられるが、仕入価格高騰と合わせ採算や業況の見通しに深刻な影響を与えていると考える。

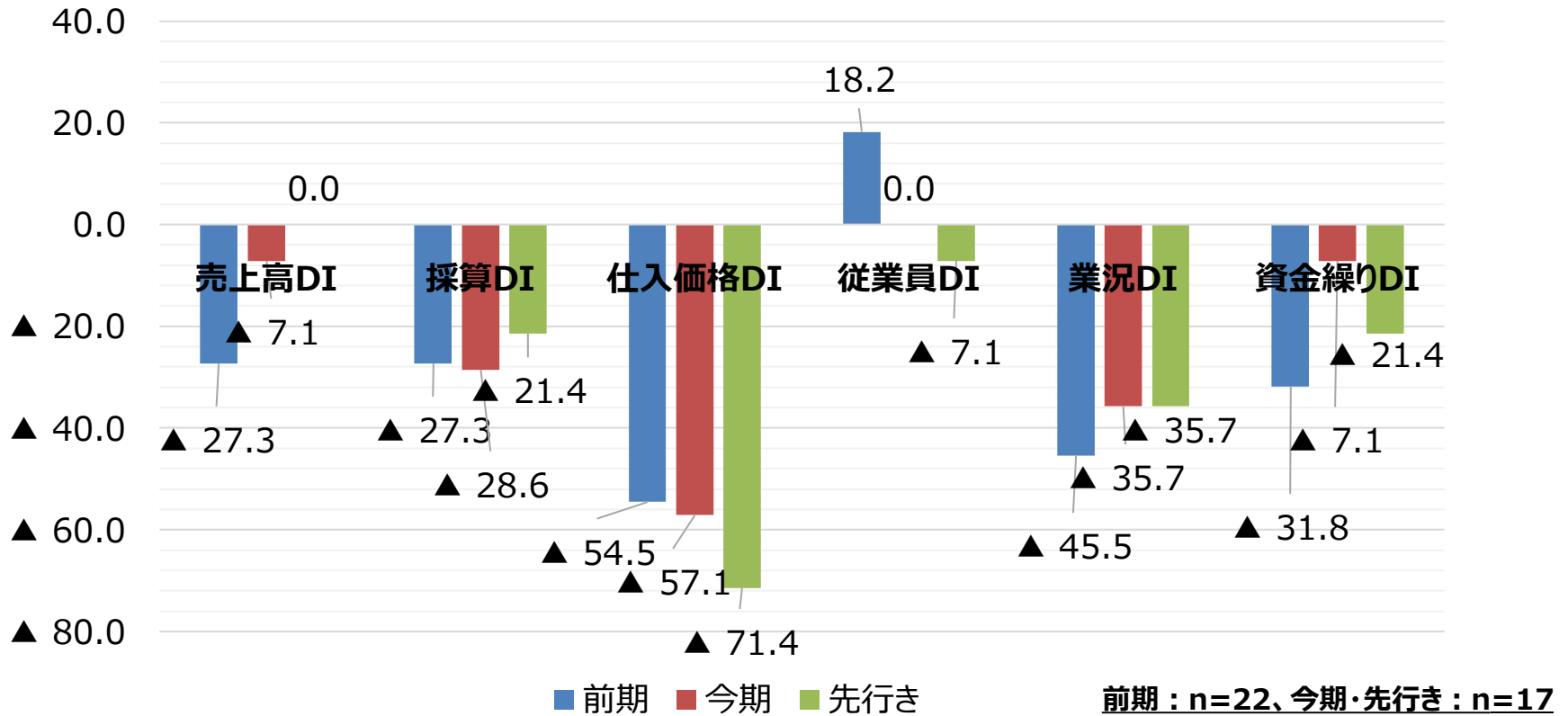
問2：景況感について | 建設業DI (前回-今回-先行き)



考察

- 建設業では、今期（4-6月）の売上高DIが27.3、業況▲9.1となっており、売上としては伸びたが採算が取れていない状況である。
- 業況DIの先行き（7-9月）は、今期よりもさらに9.1ポイント好転と見ている。業況DIがプラス数値は、建設業のみである。
- 売上高DIや業況DIの回復傾向はあるも、採算DIは▲9.1であるため、原価高騰の影響が出ていると考えられる。
- 原価高騰の要因として、原油価格の高騰による物流コストの上昇、円安による輸入コストの増大、コロナ禍による生産体制の縮小、ロシア・ウクライナ情勢の影響など、様々な要因が挙げられる。

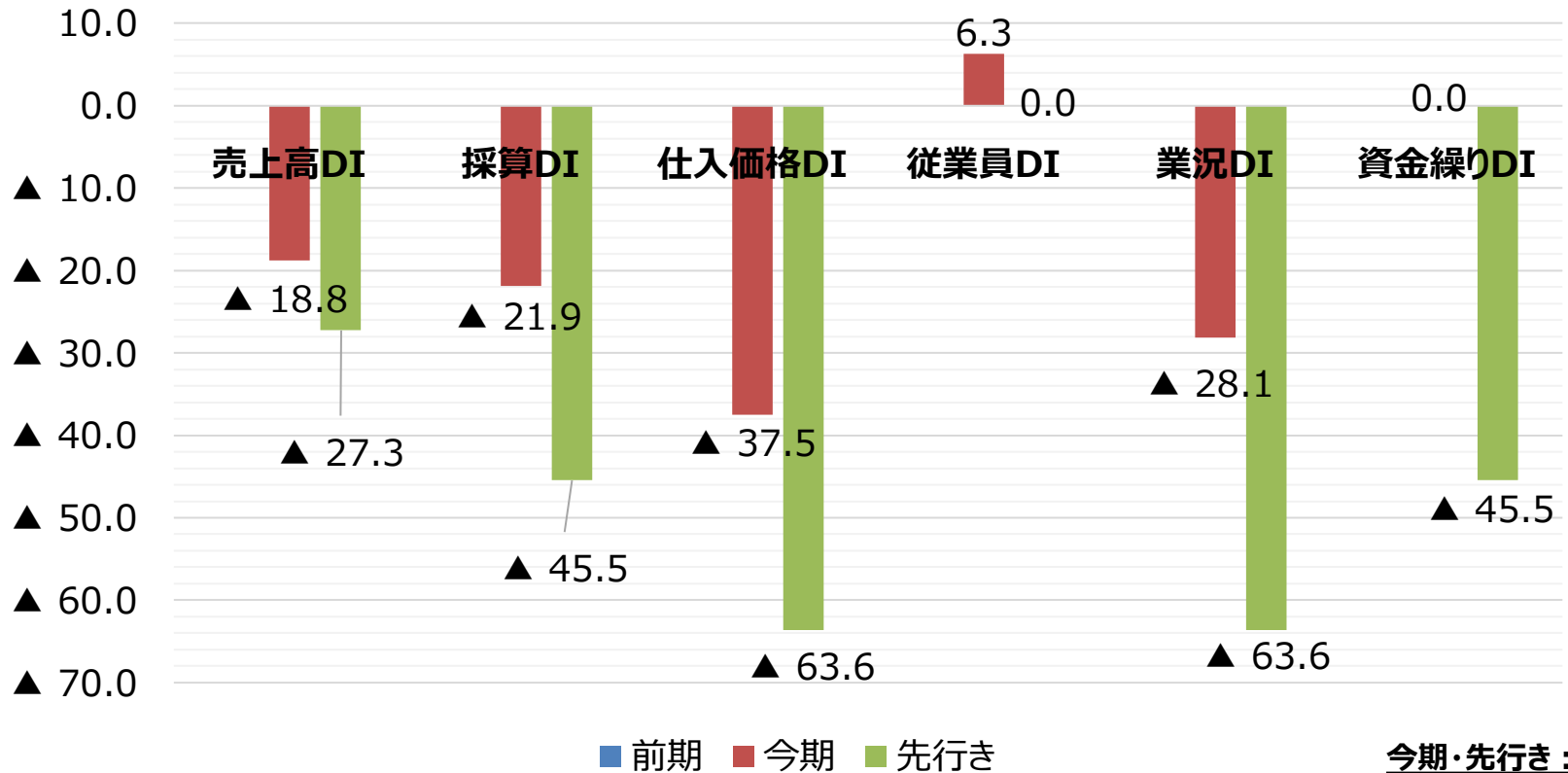
問2：景況感について | 卸売・小売業（前回-今回-先行き）



考察

- 卸売・小売では、今期の売上高DIが▲7.1、採算▲28.6となっている。
- 今期と先行きを比較して、業況DIが横ばいでありながら、売上高DIが7.1ポイント回復、採算DIが7.2ポイント回復とみている。
- 前期では、従業員は増やしていくスタンスが垣間見えたが、従業員過剰を感じているのは他業種にない特徴である。
- 価格転嫁で売上高や採算の回復を目指しつつ、人件費にも着目していることが考えられる。

問2：景況感について | 飲食業DI（今回-先行き）

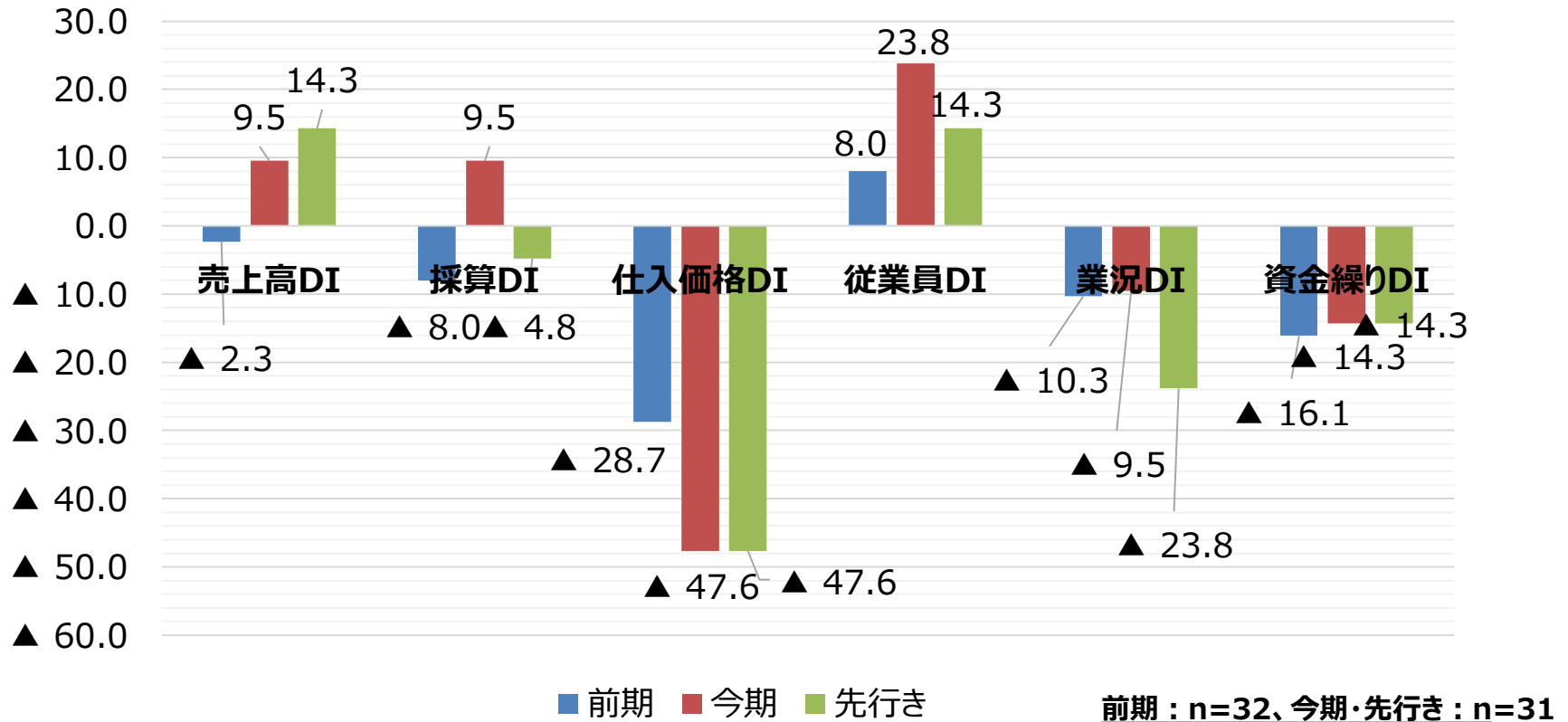


※今期から飲食業のみの表記とする為、前期記載なし

考察

- 飲食業では、今期の売上高DIが▲18.8、採算▲21.9、業況▲28.1と、減少（悪化）割合が高く、さらに先行きではいずれも下降している。
- 他業種と比較して顕著な数値が、先行き業況DIが▲63.6となっている。
- また、今期と先行きを比較して、約2倍の差があるのは、飲食業のみであった。
- コロナ感染再拡大による人流の悪影響の他、感染対策コスト、複数回の価格改定による価格転嫁が難しい状況などが、上記の数値に表れていると考える。

問2：景況感について | サービス業DI (前回-今回-先行き)



考察

- サービス業では、前期と今期を比較すると、売上高DIが11.8ポイント、採算DIが17.5ポイント回復の結果となった。
- 一方、先行きでは、売上は4.8ポイント増加が見受けられるも、採算は14.3ポイント悪化すると見ている。
- 業況DIの先行きが、▲23.8に減少しているのに対し、売上高が14.3といった増加の見通しを持っているのは、サービス業が唯一であった。
- 業況DIと採算DIが、今期よりも14.3ポイント悪化すると見ている要因として、感染再拡大による人流ストップへの懸念のほか、深刻な人手不足による人件費高騰があげられる。

問3-1：コロナによる経営への影響

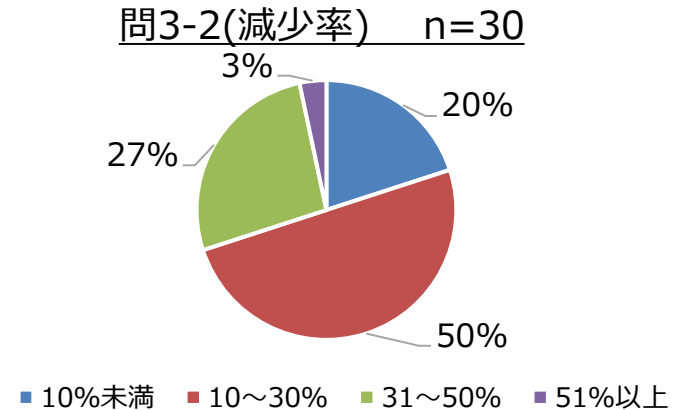
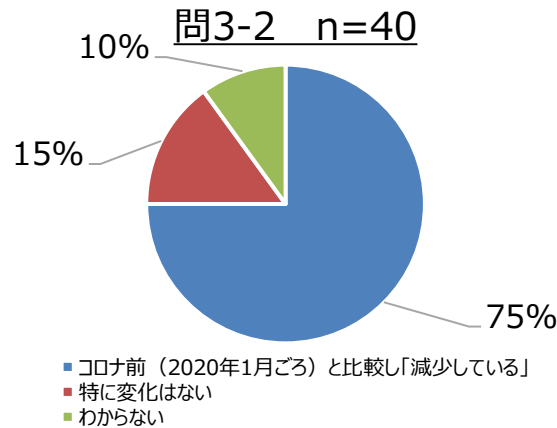
(※)「今後」とは、おおむね3か月以内を指します。

	全体 n=101	製造業 n=22	建設業 n=14	卸売・小売業 n=17	飲食業 n=11	サービス業 n=31	その他 n=6
悪化の影響が続いている	31.7%	36.4%	21.4%	17.6%	63.6%	32.3%	16.7%
今後(※)、悪化の影響が見込まれる	17.8%	18.2%	14.3%	11.8%	9.1%	25.8%	16.7%
既に改善の影響がある	15.8%	31.8%	7.1%	11.8%	18.2%	12.9%	0.0%
今度、改善の影響が見込まれる	5.9%	4.5%	0.0%	5.9%	0.0%	9.7%	16.7%
特に影響はない	21.8%	9.1%	50.0%	41.2%	0.0%	12.9%	33.3%
わからない	6.9%	0.0%	7.1%	11.8%	9.1%	6.5%	16.7%

全体の割合よりも
+5%高い業種を色付け

問3-2：売上高の減少

問3-1で「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答された方に伺います。



考察

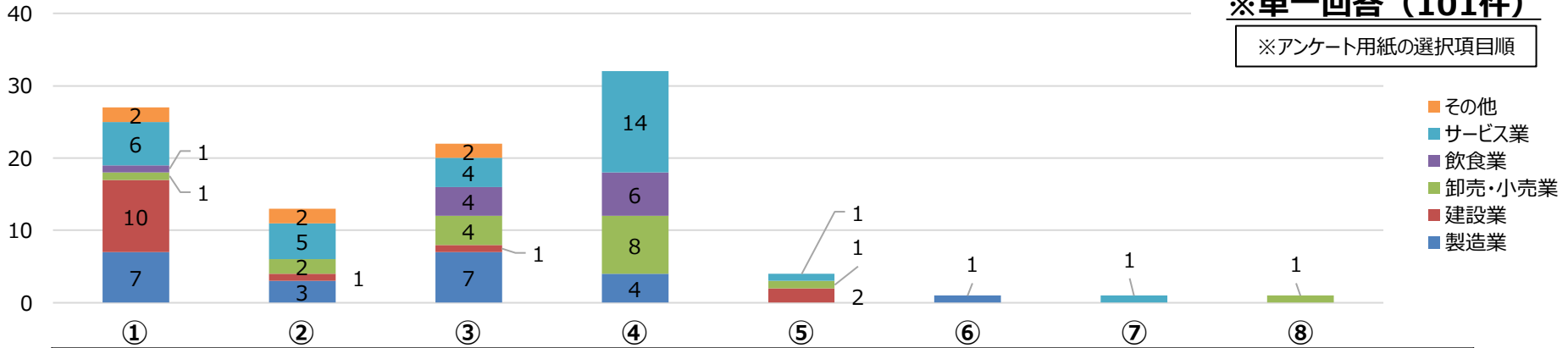
- 問3-1では、全体では、「悪化の影響が続いている」「今後悪化の影響が見込まれる」が49.5%を占めている。
- 問3-2の回答では、コロナ前と比較して75%が減少と回答している。31%以上の減少率がある回答者は、30%であった。
- 飲食業は、「悪化の影響を受けている」が63.6%に対し、「影響を受けていない」と回答している割合の高い建設業(50%)や卸売・小売業(41.2%)と顕著な差が生まれていた。顧客接点に加え、原価があがっている昨今の情勢が大きな要因であると考えられる。

問4：車両運転前後のアルコールチェックの義務化について

道路交通法の改正により2022年4月1日より目視等での確認、10月1日からはアルコール検知器による確認が義務化されることに関して、貴社の対応状況についてお聞かせください。（単一選択）

※単一回答（101件）

※アンケート用紙の選択項目順

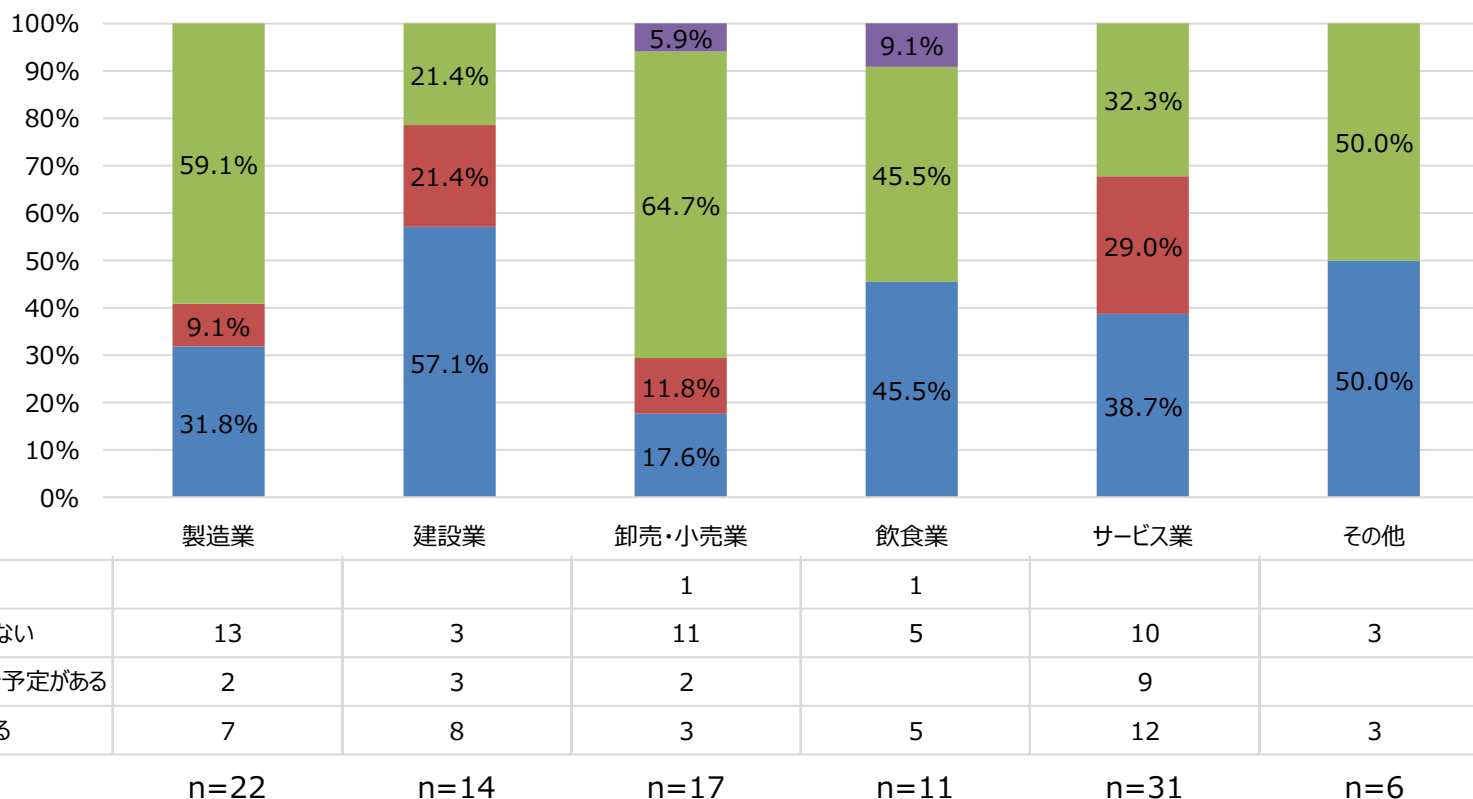


①すでにアルコール検知器による確認を実施している。(n=27)
②目視等により確認を実施しているが、アルコール検知器はまだ準備していない。(n=13)
③特に対応はしていない。(n=22)
④義務化の対象ではないので対応していない。(n=32)
⑤義務化されたことを知らなかった。(n=4)
⑥今後、対応予定 (n=1)
⑦対象外 (n=1)
⑧未回答 (n=1)

考察

- 車両運転前後のアルコールチェックの義務化について、「①検知器による実施（27件）」、「②検知器未準備（13件）」、「③特に対応していない（22件）」、「④義務化の対象ではない（32件）」が上位にある。
- ①②④⑥⑦の認知している回答は、74件となり、全体の73.3%であった。
- この結果から、認知よりも、実施するための支援や実施方法の情報発信に関するフェーズであると考える。

問 5-1：男女共同参画・女性活躍に関する取り組みを行っていますか。（業種別）

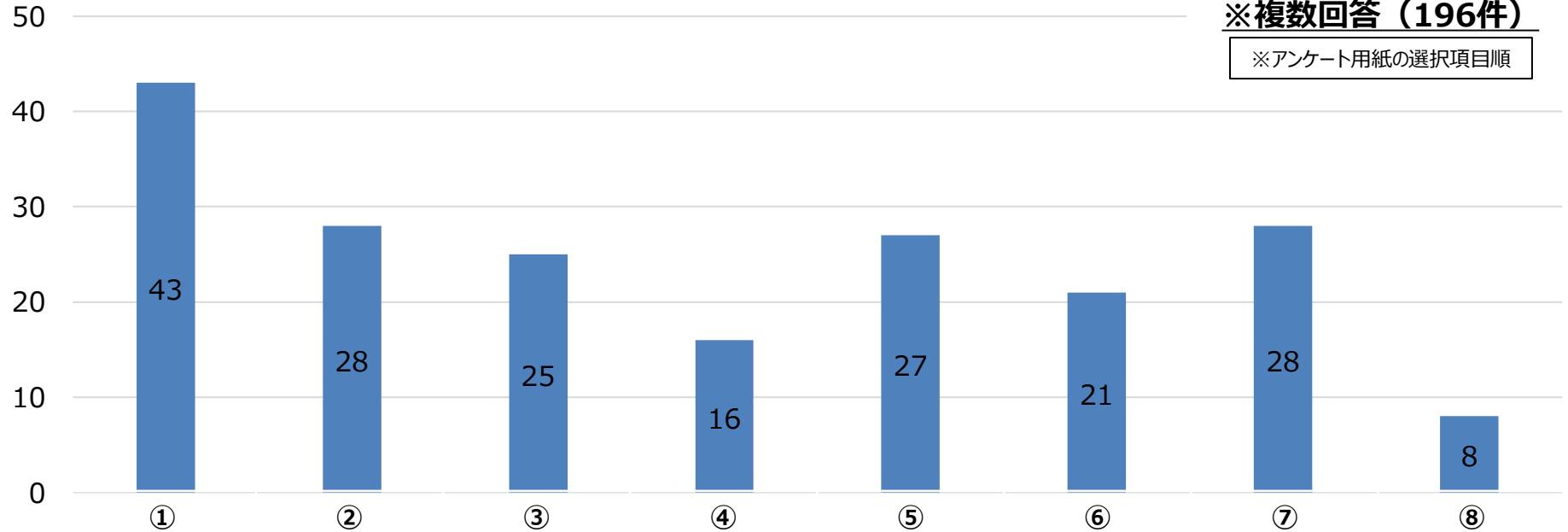


考察

- 男女共同参画・女性活躍の取組を進めている割合が高い業種は、建設業（57.1%）、飲食業（45.5%）であった。
- 「取り組んでいない」と回答とした業種の割合が高いのは、卸売・小売業（64.7%）、製造業（59.1%）、飲食業（45.5%）であった。
- 補足として、後述する「取り組んでいない」理由には、「既に女性は活躍しており、現状で問題ない」という回答が最も多い。
- 上記の結果と組み合わせると、他業種に比べて、建設業がこれまで男女共同参画に関する取り組みを行えていなかったという視点を持つこともできる。

問 5-2 : 男女共同参画・女性活躍に取り組む理由

問 5 - 1 で「取り組んでいる」「今後取り組む予定がある」と回答した方を対象



① 人材の確保・定着

② 職場の活性化による労働意欲の向上

③ 持続可能な経営に必要な

④ 働き方の見直しによる業務の効率化

⑤ 企業のイメージアップ

⑥ 男女格差の是正

⑦ 女性の能力が発揮されることによる生産性の向上及び企業業績の向上

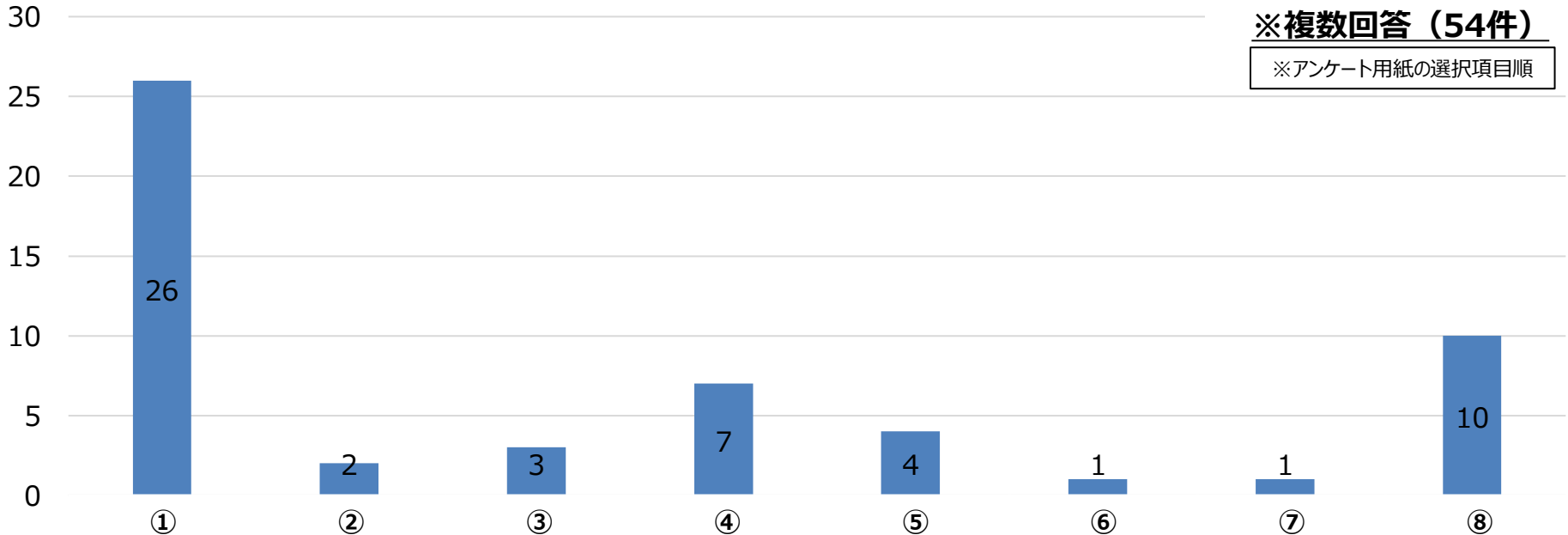
⑧ 新商品・新サービス開発に多様な視点が必要

考察

- 取り組む理由として上位3項目は、「人材の確保・定着（43件）」、「労働意欲向上（28件）」、「生産性の向上及び企業業績の向上（28件）」であった。
- イメージアップも理由として高いが、人材育成のほか、生産性向上や職場改善に関する思いが強い傾向がうかがえる。
- 多様な視点をもつための商品開発においては、性別を意識していないのがうかがえる。

問5-3：男女共同参画・女性活躍に取り組んでいない理由

問5-1で「取り組んでいない」と回答された方を対象



※複数回答（54件）

※アンケート用紙の選択項目順

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ① 既に女性は活躍しており、現状で問題ない | ⑤ 女性の意識と意欲が伴わない |
| ② 具体的な取り組み方法がわからない | ⑥ 女性の勤続年数が短い |
| ③ 必要性を感じない | ⑦ 企業の業績向上に資するものではない |
| ④ 女性が少数である | ⑧ 特に理由はない |

考察

- 取り組んでいない理由として、「既に活躍している（26件）」という回答が多くあった。
- 「理由はなく取り組んでいない」という回答が10件あり、2番目に多い回答であった。
- 上位2項目に関しては、対極に近い内容でもあり、具体的な課題意識を持っていないということも考えられる。
- それにより、支援が必要か、認知や啓発が必要かなどといった取り組みへとつなげられる。

問6：今後の経営において、行政や商工会議所へ望むこと（トピックス）

経営に直結する資金調達や、補助金・助成金についての支援のほか、今期では、SDGsや生産性向上といった変化に対する対応策支援を期待される声が増加。

カテゴリー	会員の声（一部抜粋）
経営支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 先端導入計画・経営力向上計画等、御指南を頂きたい。（製造業） ● コロナ融資の据置返済が始まると、資金繰りがかなり厳しくなる。今のままで景気の回復は見込めず、コロナ融資の返済が始まる。何か策はないものでしょうか。（サービス業）
資金調達	<ul style="list-style-type: none"> ● まだコロナの影響を受けている企業があり、企業努力と補助金や助成金のサポートを期待したい。（サービス業、卸売・小売業） ● 世の中の情勢に左右されやすい業種なので、継続的な資金調達がしやすくしてほしい。（飲食業） ● 小規模（個人経営規模）でも導入しやすいIT活用（金銭的に）の紹介をしてほしい。（卸売・小売業） ● 補助金・助成金の仕組みが難しく、手間がかかります。もっと簡単に、また見つけやすくなることを希望します。（その他／福祉） ● 助成金や補助金などの新しい情報やIT化戦略のご相談などが欲しい。（建設業）
販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政指導をしっかり守って営業を行った結果、一度離れた客は戻ってこない現状。脱却策を検討願いたい。（飲食業） ● 販促活動への協力体制（サービス業） ● バイヤーとのマッチング、製造メーカーのご紹介（卸売・小売業）
セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGsの講習会・宣言書策定の補助（建設業） ● 生産性向上に向けたセミナーの実施（卸売・小売業） ● 外国人を理解する説明会。市内で外国人が増えておりどのように接したら良いか分からない。（卸売・小売業）
行政要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 円安の改善（卸売・小売業） ● 原材料の安定確保。電力の安定確保。（製造業） ● 物価の安定消費意欲の向上に務めていただきたい。（飲食業） ● 川口市独自の融資や補助金の拡充。（サービス業） ● 電帳法は、企業にとってコスト的にも労力的にも負担が大きすぎるので、廃止を要望（サービス業）
会議所	<ul style="list-style-type: none"> ● タイムリーな情報発信（サービス業） ● 女性活躍をはじめとするダイバーシティなど、人的資本への経営に舵を切る必要性をもっと訴求すべき。セミナーなどもマンネリ化している状況で残念に感じます。（サービス業） ● 飲食店メインの支援やプロジェクトが多いので、その他の業種の支援やプロジェクトもあると嬉しいです。（サービス業）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 労務監査（サービス業）

参考資料 第29回 (4-6月期) 川口商工会議所リアルタイム景況調査アンケート用紙

川口商工会議所 総合政策課 (FAX 048-228-2221)

第29回 (4-6月期) 川口商工会議所リアルタイム景況調査へのご協力のお願い

令和4年7月11日

会員のみなさまへ (必ずご回答くださいますようお願い申し上げます)

日ごろより、本商工会議所の事業運営にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。当所では、市内企業の景況を調査するため、四半期に一度リアルタイム景況調査を実施しております。このたび、第29回(4-6月期)調査を実施いたしますので、お忙しいところ、誠に恐縮ですが、該当部分にチェックのうえ、7月15日(金)まで、FAXまたはアンケートフォーム(右QRコード)にてご返信いただけますようお願いいたします。

皆様のご協力のもと、本調査結果につきましては、引き続き本市中小企業支援や行政への意見要望等の参考とさせていただきます。また、過去の調査結果につきましては、本商工会議所ホームページに掲載しておりますので参照ください。 川口商工会議所



アンケート調査票

問1 貴社の状況についてお伺いします。(1)～(5)についてそれぞれ該当する番号をご回答ください。

(1) 業種 *複数業種の場合は売上比率の最も高い業種を1つお選びください。

1 製造業	2 建設業	3 卸売・小売業	4 飲食業
5 サービス業	6 その他 ()		

(2) 業歴

1 5年未満	2 5～10年	3 11年～20年	4 21年～30年
5 31年～40年	6 41年～50年	7 51年～60年	8 61年～70年
9 71年～80年	10 81年～90年	11 91年～100年	12 101年以上

(3) 資本金

1 個人事業主	2 500万円以下	3 500万円超～1千万円以下
4 1千万円超～3千万円以下	5 3千万円超～5千万円以下	6 5千万円超～1億円以下
7 1億円超～	8 その他	

(4) 従業員(正社員)数(パート・アルバイトを除く)をご記入ください。

_____人

(5) 収益状況(直近の決算)

1 黒字	2 収支トントン	3 赤字
------	----------	------

問2 貴社の景況感について、回答できる範囲で、該当部分に☑チェックをご記入ください。

*設問の「今期」は 令和4年4月～6月としてお答えください。

1 売上高	(1) 今期(1月～3月と比べ)	☐増加	☐不変	☐減少
	(2) 今後の先行き見通し(7月～9月)	☐増加	☐不変	☐減少
2 採算	(1) 今期(1月～3月と比べ)	☐好転	☐不変	☐悪化
	(2) 今後の先行き見通し(7月～9月)	☐好転	☐不変	☐悪化
3 仕入単価	(1) 今期(1月～3月と比べ)	☐下落	☐不変	☐上昇
	(2) 今後の先行き見通し(7月～9月)	☐下落	☐不変	☐上昇
4 従業員	(1) 今期(1月～3月と比べ)	☐不足	☐不変	☐過剰
	(2) 今後の先行き見通し(7月～9月)	☐不足	☐不変	☐過剰
5 業況	(1) 今期(1月～3月と比べ)	☐好転	☐不変	☐悪化
	(2) 今後の先行き見通し(7月～9月)	☐好転	☐不変	☐悪化
6 資金繰り	(1) 今期(1月～3月と比べ)	☐好転	☐不変	☐悪化
	(2) 今後の先行き見通し(7月～9月)	☐好転	☐不変	☐悪化

問3-1 新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)による経営への影響をお聞かせください。

- (いずれか1つに☑をつけてください)
- 1: 悪化の影響が続いている
2: 今後(※)、悪化の影響が見込まれる } 問3-2へ (※「今後」とは、おおむね3か月以内を指します。
3: 既に改善の影響がある 4: 今後、改善の影響が見込まれる 5: 特に影響はない 6: わからない

問3-2 問3-1で「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答された方に伺います。

悪化の影響による売上高の減少はありますが(または減少すると思われませんか)、(いずれか1つ)

- 1: コロナ前(2020年1月ごろ)と比較し「減少している」
→ (減少割合 ア: 10%未満 イ: 10～30% ウ: 31～50% エ: 51%以上)
2: 特に変化はない 3: わからない

問4 ※改めて全ての方に、お伺いします。

車両運転前後のアルコールチェックの義務化について伺います。

道路交通法の改正により2022年4月1日より目視等での確認、10月1日からはアルコール検知器による確認が義務化されることに関して、貴社の対応状況についてお聞かせください。(いずれか1つ)

*対象:自動車5台以上保有する事業所または乗車定員11人以上の自動車1台以上保有する事業所

- 1: すでにアルコール検知器による確認を実施している。
2: 目視等により確認を実施しているが、アルコール検知器はまだ準備していない。
3: 特に対応はしていない。 4: 義務化の対象ではないので対応していない。
5: 義務化されたことを知らなかった。 6: その他 ()

問5 男女共同参画・女性活躍促進に関して伺います。

問5-1 貴社において、男女共同参画・女性活躍に関する取り組みを行っていますか。(いずれか1つに☑)

- 1: 取り組んでいる 2: 今後取り組む予定がある 3: 取り組んでいない

問5-2 問5-1で「取り組んでいる」「今後取り組む予定がある」と回答された方に伺います。

男女共同参画・女性活躍に取り組む理由をお聞かせください。(複数回答可)

- 1: 人材の確保・定着 2: 職場の活性化による労働意欲の向上 3: 持続可能な経営に必要な
4: 働き方の見直しによる業務の効率化 5: 企業のイメージアップ 6: 男女格差の是正
7: 女性の能力が発揮されることによる生産性の向上及び企業業績の向上
8: 新商品・新サービス開発に多様な視点が必要
9: その他 ()

問5-3 問5-1で「取り組んでいない」と回答された方に伺います。

男女共同参画・女性活躍に取り組んでいない理由をお聞かせください。(複数回答可)

- 1: 既に女性活躍しており、現状で問題ない 2: 具体的な取り組み方法がわからない
3: 必要性を感じない 4: 女性が少数である 5: 女性の意識と意欲が伴わない
6: 女性の勤続年数が短い 7: 企業の業績向上に資するものではない 8: 特に理由はない
9: その他 ()

問6 今後の経営において、行政や商工会議所へ望むことをお聞かせください。

川口商工会議所では、景況調査を年6回程度で予定しております。今年度より、ご回答いただきました会員事業所様には年度末に謝礼のオウカードをお送りいたしますので、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

以下の内容をご記入ください。(非公開内容となります。)

事業所名	
今後、希望するアンケートの受信方法	FAX ・ メール (いずれか1つに☑をお願いします。)
メールアドレス(メールで希望の場合)	

ご協力ありがとうございました。*回答いただいた内容につきましては、川口商工会議所の運営に活用させていただきます。

問い合わせ: 川口商工会議所総合政策課 TEL: 048-228-2220